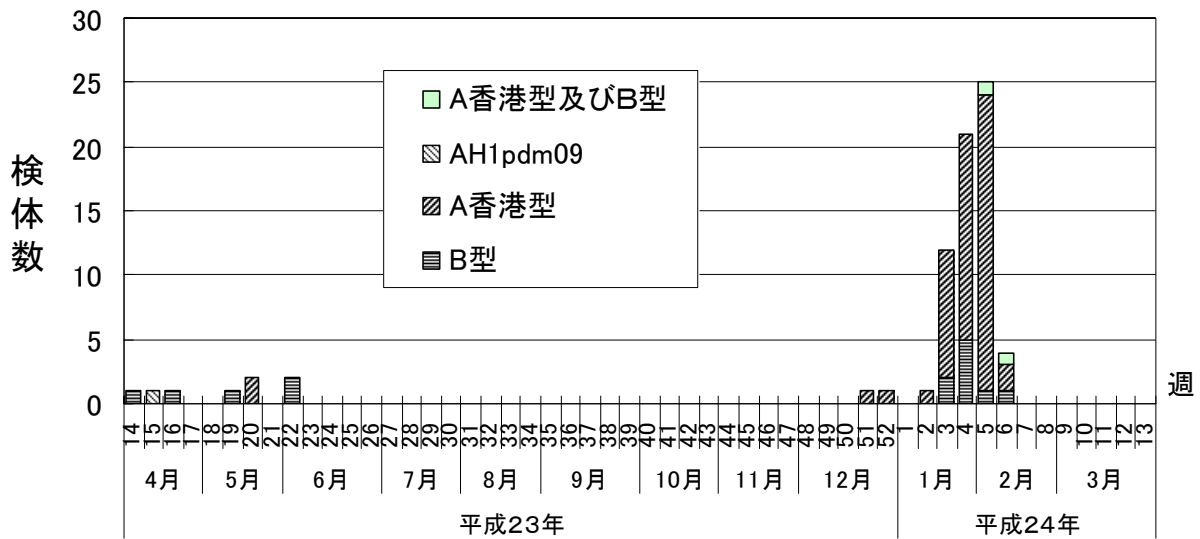


2 本市におけるインフルエンザウイルス検出状況

感染症発生動向調査では、市内16箇所の病原体定点医療機関から検体の提供をいただき、インフルエンザウイルスの検査を行い、流行しているインフルエンザウイルスの型の把握を行っています。

年明け以降、検体提供数は71件であり、そのうち63件からウイルスが検出され、その内訳はA香港型が52件と約8割を占めており、B型が9件、A香港型及びB型の混合が2件となっています。※第6週は2月7日午前結果判明分まで

市内におけるインフルエンザウイルス検出状況（病原体サーベイランス）



《問合せ先》
 川崎市健康福祉局健康安全室
 新型インフルエンザ・防疫対策担当
 電話 044-200-2432
 内線 32931

市民の皆様へのお願い

川崎市内でインフルエンザが流行しています。

インフルエンザに「かからない、うつさない」ために、正しい衛生習慣を身につけましょう。

《《 インフルエンザ予防のポイント 》》

外出から帰ったら、必ず、手洗い、うがいをしましょう。

- ウイルスはどこについているかわかりません。外出したら、必ず手洗い・うがいをしましょう。
- 洗っていない手で、目や鼻、口を触らないように習慣づけましょう。
- 洗った手は清潔なタオルやペーパータオルで拭きましょう。

人にせきやくしゃみをかけない「せきエチケット」を身につけましょう。

- せきやくしゃみが出たら、
 - ・ 他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。
 - ・ マスクを持っていない場合は、他の人から顔をそらし、ティッシュなどで口と鼻をおおきましょう。
- 鼻汁、痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱にすてましょう。
- せきやくしゃみを手でおおったら、手を石鹸で丁寧に洗いましょう。

ワクチン接種を受けましょう。

- インフルエンザにかかった場合の重症化を防ぐ効果が期待できます。接種から2～3週間で効果が現れますので、まだ受けていない方はできるだけ早い接種をおすすめします。

その他のポイント～空気環境も大切に～

- 部屋は適切な湿度を保つようにしましょう。(湿度50%～60%程度)
- 定期的に換気をよく行いましょう。